

大牟田市立三池小学校

1 本校のESDの特徴

本校は、「郷土を愛し、知・徳・体の調和のとれた豊かな心と健やかな体を持ち、たくましく生きぬく子どもを育成する。」を学校理念として、ESDを地域と「関わり」「つながる」教育と捉え、ESDの実践を通して、自分の考えを伝え、相手を説得できる（認め合う）力、自ら未来をつくる意思のもと実践する力の育成を目標とした。

具体的には、体験活動の重視、表現活動の工夫、振り返り活動の重視を柱に、①郷土に係わる活動、②環境に係わる教育、③食育に係わる学習、④福祉に係わる学習を行った。

2 ユネスコスクールとしての活動・全体計画

<各学年の「地域体験学習」の活動内容>

3年

三池に残る民話や伝説について現地で話を聞き、紙芝居等にまとめ、「ふるさと三池のよさ」を学習発表会で保護者や地域の方に広める。

（見学地） 劫月院…夜泣き地蔵、金井寺…「桜姫」伝説、明正寺…六地蔵 など

4年

大牟田カルタを使った遊びを通して三池校区にある史跡に興味を持つ。その中から実際に見学し説明を聞いたり、調べたりしてまとめ、自分たちの三池カルタを作って遊んだり、発表したりする。

（見学地） 安照寺、内田別当家跡、船津和算塾跡、藩校修道館跡、三池街道 など

5年

大蛇山の起源について話を聞き、実際に見学することで、大蛇山の歴史を正しく理解する。分かったことをまとめ発信することで、古くから受け継がれてきたことをこれからも守っていこうとする。

（見学地） 三池新町弥剣神社

6年

三池藩や三池地区の歴史を学び、今も残る昔の人々の生活の跡を見学することで「ふるさと三池」を再発見し、調べたことや地域の方々への提言を新聞やリーフレットにまとめて、学んだことを保護者や地域の方に広める。

（見学地） 藩校修学館跡、三池藩・柳川藩境、堀割跡 など

3 特徴的な活動事例

『地域体験学習～三池校区の史跡から学ぼう～』

<6年生 総合的な学習の時間 単元名「三池の歴史遺産を調べよう」>

(1) 目標

○三池校区に残る貴重な歴史遺産についてG Tの方から話を聞いたり、実際に見学したりして、「ふるさと三池」のよさを見直し、地域を愛する心情を育てると共に、地域の歴史遺産のすばらしさを伝えることができる。

(2) 実践の展開

①資料「みいけのさと」を読んで、三池にある歴史遺産について興味を持つ。

11 住み続けられる
まちづくりを



②三池に残る歴史遺産を実際に見学する。

〈三池の歴史を学ぶ会の方によるボランティアガイド〉

③見学したことをもとに、歴史遺産について詳しく調べる。

④調べたことをもとに、三池校区の未来について考えをまとめ、ポスターを作成する。

⑤保護者や地域の方へポスターセッション形式で発表する。



【実際に見学し、G Tの方の説明を聞く】



【作成したポスターを保護者やG Tの方に発表する】

(3) 子どもたちの様子 (子どもの感想)

- ・三池の歴史を学ぶ会の人に三池の史跡を案内してもらってその場所の歴史やそこで行われる行事について知ることができました。知っている場所でも、説明を聞いてさらにくわしく知ることができました。
- ・車も通れないせまい道で不便に思っていたけど、江戸時代からの道だと思つと、なんだかすごい気がします。ただの溝だと思つていたところも陣屋を守つた堀だと分かつと、ずっと残つている意味が分かりました。



【三池地区公民館で行われた三池会議での発表】

- ・これからも三池の歴史や伝統行事について知つて、そのよさをみんなに伝えていきたいです。
- ・三池に住んでいるけれど、日頃は気付かなかつた三池のよいところを知ることができてよかつたです。みんなが大事にして、このまますつと未来に残していきたいと思つます。

4 本年度の成果と課題

○成果

- ・これまでの学習で、三池校区にたくさんの歴史遺産があることを学んではいたが、この学習を通して、三池の地域の歴史や伝統を先人たちが代々受け継いできたことを知り、これからも地域の史跡を大切にし、未来につなげていきたいという気持ちを改めて持たせることができた。
- ・三池地区公民館での「三池会議」に参加できた。子供たちは、地域で学び、学んだ成果や自分たちの意見を地域の人に聞いてもらうというように、地域との繋がりを強くすることができた。

○課題

- ・教師も校区内の歴史的遺産について知り、子供に何を学ばせるかテーマを絞つて、G Tの方と綿密な打合せ(各学年で見学したり、調べたりする史跡や学習の系統性等)をする必要がある。
- ・調べ学習をすすめる上で、子供の発達段階に合つた資料をそろえる必要がある。